



『見張り番Ⅲ』 施設向け ワイヤレスナースコールシステム

据置型受信機

NC-9000RX

取扱説明書

安全上のご注意	2-4
各部の名称	5
ご使用前に	6
ご使用方法	6
送信機電池交換通知機能	7
音量の調整方法	7
アラーム音の設定方法	8
アラーム音一覧	8
送信機の登録方法	9
登録の確認方法	9
送信機の登録削除の方法	10
据置型受信機のテスト	10
見張り番Ⅱの送信機と組み合わせて使用する	11
こんな時には・・・（故障とお考えになる前に）	11
製品仕様	11
保証規定	12

ご使用いただく前に

この度は、『見張り番Ⅲ』据置型受信機をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

正しくお使いいただくために、取扱説明書をよくお読みください。なお、この取扱説明書は大切に保管してください。

この製品は、あくまでも介護者さんが自身が利用者さんの安全を見守るうえでの手助けをするものです。安全を保証するものではありません。

安全上のご注意

本製品を正しく安全にまた良好な状態でお使いいただくために、「安全上のご注意」をよく読んで正しくお使いください。

※品質、性能向上、その他の事情で部品を変更することがあります。
その際には、本書の内容と一部異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

■絵表示について

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、下記の絵表示をしています。絵表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

※「注意」の欄に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しています。必ずお守りください。

■次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。	 水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしてはいけないことを示す記号です。
 分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。	 ACアダプターをコンセントから抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

警告

万一、異常や故障が発生したときはすぐに使用をやめてください。

次のようなときは、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。すぐに電源スイッチを切り、ACアダプターをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。



- 煙が出ている、変なにおいや音がる(異常状態)
※煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。
- 本機の内部に水や異物などが入った
- プラグやコード類が異常に熱くなった
- 落としたり、破損した



分解しない

分解禁止

本機を分解、改造しないでください。火災、感電の原因となります。内部の点検、調節、修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。



ぬらさない

水ぬれ禁止

本機をぬらさないようにご注意ください。火災、感電の原因となります。



ACアダプターのコードを傷つけない

禁止

無理な使い方をするとコードが破損しますので、次のようなことはしないでください。

- コードの上に重いものを乗せる。
- 途中でつぎ足したりして加工する。
- 無理に折り曲げる。
- 傷をつける。
- ねじったり、引っ張ったりする。
- 熱器具に近づける。

ACアダプターのコードが傷んだときは、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



ACアダプターを抜くときの注意

ぬれ手禁止

- ぬれた手でACアダプターの抜き差しはしないでください。感電の原因となることがあります。
- ACアダプターを抜くときは、ACアダプター本体を持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。



ACアダプター接続時の注意

禁止

次のことをお守りください。誤った使い方をすると発熱などにより、火災の原因となります。

- ACアダプターはコンセントへ確実に接続する。コンセントの差込がゆるいときは使用しない。
- コードは束ねたまま使用しない。
- コンセントや配線器具の定格を超えた使用はしない。(たこ足配線など)



電源電圧100V以外で使用しない

禁止

表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で使用しないでください。火災、感電の原因となります。



差し込み部分は定期的に点検をする

指示

定期的にACアダプターを抜いて、プラグとコンセントの間に付着したほこり、汚れなど取り除いてください。ほこりにより、ショートや発熱が起り、火災の原因になります。



本機の上に水などの入った容器を置かない

禁止

内部に水などが入った場合、火災、感電の原因となります。



強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしない

禁止

発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意



電気毛布・電気あんかなどの電気製品と同時使用しない

禁止

本機の故障や感電の原因となることがあります。



長期間使用しない場合やお手入れの際の注意

ACアダプターをコンセントから抜く

安全のためにACアダプターをコンセントから抜いてください。火災の原因になることがあります。



設置場所に注意

禁止

- 湿気、ほこりの多い場所や、油煙、湯気が当たる場所に置かないでください。火災、感電の原因となることがあります。
- 直射日光が当たる場所など温度が高くなる場所に放置しないでください。火災、故障の原因となることがあります。



不安定な場所に置かない

禁止

不安定または振動の多い場所、棚などに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。



本機の上に重いものを置かない

禁止

本機の故障の原因となることがあります。

電波について

- 本機は、924.325MHzの周波数を使用する無線設備です。
- 本機は日本国内でのみ使用できます。

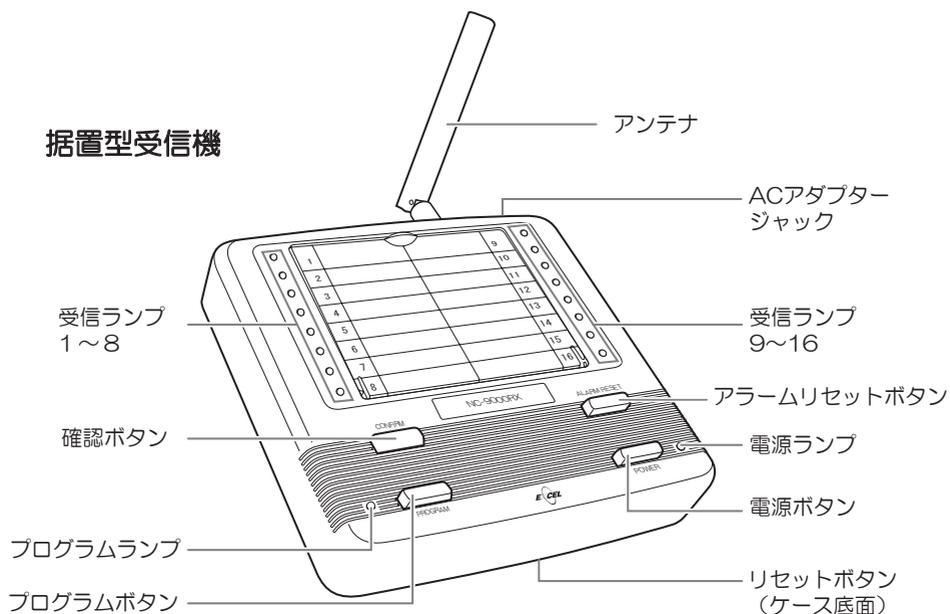
電波干渉について

- 見張り番Ⅲワイヤレスナースコールシステムは、920MHzの周波数帯の電波を利用しています。同じ周波数帯を利用した機器を使用している場合、電波干渉により、通信に支障を及ぼす恐れがあります。また、他の危機の動作や性能に影響を及ぼすことがあります。万一、電話干渉が発生した場合は、お客様相談室(保証書面に記載)へご連絡ください。

その他

- 分解・改造することは法律で禁じられています。(故障の際はお買上げの販売店に修理をご依頼ください。)

各部の名称



ご使用の前に

本製品のシステムをご使用になるために、以下の要領で準備をしてください。
詳しい操作手順についてはそれぞれの項目の説明をご覧ください。
また個別に取扱説明書がある商品はそちらもご覧の上ご使用ください。

1. 据置型受信機の電源を入れる。(下記「据置型受信機の電源を入れる」)
2. 据置型受信機に送信機を登録する。(9 ページ 「送信機の登録方法」)
3. 送信機を使用する場所に設置する。
4. 据置型受信機のテスト動作をする。(10 ページ「据置型受信機のテスト」)

据置型受信機の電源を入れる

1. AC アダプタージャックに AC アダプターを差し込み、コンセントにつなぎます。
2. 電源スイッチを ON にします。電源ランプが点灯します。

ご使用方法

アラーム信号を受信すると、アラームを発信した番号の受信ランプが点滅し、アラームが鳴ります。
アラームを止めるには、受信機のアラームリセットボタンを押します。
アラーム音が停止し、受信ランプも消灯します。

複数のアラームを同時に受信した際は、受信したそれぞれの受信ランプが点滅し、
後から受信した番号のアラーム音が鳴ります。
アラームリセットボタンを押す毎に、先に受信した番号の受信ランプから順に消灯し、
すべて消すとアラーム音も停止します。

送信機電池交換通知機能

送信機の電池残量が少なくなった時に、据置型受信機に情報を通知します。

センサーが動作した際、またはコールボタンを押した際に電池残量が少なくなっていると、受信ランプの点滅が通常の点滅と異なり速い点滅になります。速い点滅になった場合、送信機の電池交換を行ってください。

音量の調整方法

1. 据置型受信機の確認ボタンを押しながら電源を入れます。
2. 1 番の受信ランプが点滅してアラーム音が流れます。
3. 音量は 10 段階あり、アラームリセットボタンを押す毎に音量は大きくなります。音量が最大の状態で押すと音量は最小になります。適した音の大きさになるまでアラームリセットボタンを押してください。
4. 確認ボタンとアラームリセットボタンを同時に押してください。アラーム音が消えて、音量調整が完了します。



完了せずに電源を切ると変更した内容は保存されません。

アラーム音の設定方法

アラーム音は、8曲のメロディー音と8種類のブザー音の中からお選びいただけます。

1. 据置型受信機の確認ボタンを押しながら電源を入れます。
2. 1番の受信ランプが点滅してアラーム音が流れます。プログラムボタンを押すと2番の受信ランプが点滅します。アラーム音を変更したい番号の受信ランプが点滅するまでプログラムボタンを押してください。
3. 変更する番号が点滅しているのを確かめて、確認ボタンを押します。確認ボタンを押す毎にアラーム音の種類が変わります。お好みのメロディーかブザー音を選択してください。
4. 確認ボタンとアラームリセットボタンを同時に押してください。アラーム音が消えてアラーム音設定が完了します。



完了せずに電源を切ると変更した内容は保存されません。



アラーム音は最初”エリーゼのために”に設定されています。確認ボタンを押すと下記一覧のメロディーの番号順に切り替わり、8番まで行くとブザーの1番に、ブザーの8番からはメロディーの1番に戻ります。

アラーム音一覧

	メロディー	ブザー
1	エリーゼのために	ピーピー
2	ロングロングアゴー	ピッ、ピッ、ピッ、ピッ
3	子犬のワルツ	ピピッ、ピピッ
4	ユーモレスク	ピッピー、ピッピー
5	ノクターン	ピッピッピー、ピッピッピー
6	ちょうちょう	ピーローピーロー
7	げんこつやまの狸さん	ピロピロ、ピロピロ、
8	メリーさんの羊	ピロピロピロピロ

送信機の登録方法

1. 据置型受信機の電源を入れます。プログラムランプが点滅します。既に送信機が1つでも登録されている場合は、プログラムランプは点滅しません。
2. プログラムボタンを長押しします。ピーと音がして既に登録されている番号の受信ランプは点灯し、登録されていない最も若い番号の受信ランプが点滅します。
3. もう一度プログラムボタンを押すと、次に若い番号の受信ランプが点滅します。これを繰り返して登録したい番号を選択します。
4. センサーやコールボタンを動作させて据置型受信機が受信するとピーと音がして送信機が登録され受信ランプは点灯に変わります。
5. 複数の送信機を登録する場合は、手順 3、手順 4 を繰り返します。
6. 確認ボタンを押すと、ピーと音がして受信ランプとプログラムランプは消灯し、登録終了になります。

登録の確認方法

送信機が登録されている番号を確認するには、据置型受信機の確認ボタンを長押しします。ピーと音がして登録されている番号の受信ランプが約 4 秒間点灯します。その後、ピーと音がして受信ランプは消灯します。

送信機の登録削除の方法

すべての番号の登録を削除する場合

1. 据置型受信機の電源を切ります。受信機底面のリセットボタンをピンなどで押しながらか電源を入れます。
2. 電源ランプが点灯し、プログラムランプが点滅するまでリセットボタンを押し続けます。
3. プログラムランプが点滅すると削除完了です

特定の番号の登録を削除する場合

1. 据置型受信機の電源を入れます。プログラムボタンとアラームリセットボタンを同時に長押しします。
2. ビーと音がしてプログラムランプが点灯し、登録されている最も若い番号の受信ランプが点滅します。
3. もう一度プログラムボタンを押すと、次に若い番号の受信ランプが点滅します。プログラムボタンを押す度にビーと音がします。リセットしたい番号が点滅するまでプログラムボタンを押します。
4. リセットしたい番号が点滅しているのを確かめて、アラームリセットボタンを押します。ビーと音がして選択された番号がリセットされます。
5. 確認ボタンを押すと、ビーと音がして受信ランプとプログラムランプは消灯します。リセット完了です。

据置型受信機のテスト

全ての設定が終わりましたら、ご使用になる前に据置型受信機のテスト動作を行ってください。

1. 据置型受信機の電源を入れます。
2. 登録した送信機を動作させます。据置型受信機の登録した番号の受信ランプが点灯し、アラーム音が鳴ります。据置型受信機のアラームリセットボタンを押すと、受信ランプが消え、アラーム音も止まります。
3. 複数台登録した場合は、すべての送信機で正常に登録がされているかを確認してください。

見張り番Ⅱの送信機と組み合わせて使用する

見張り番Ⅲ変換機を使用することで見張り番Ⅱの送信機を見張り番Ⅲ据置型受信機に登録して使うことができます。

1. 見張り番Ⅲ変換機を設置して電源を入れます。
設置する場所は見張り番Ⅱの送信機の信号を受けられる位置に置きます。
2. P.9 送信機の登録方法を参照して、見張り番Ⅱ送信機を見張り番Ⅲ据置型受信機に登録します。
3. 通常の見張り番Ⅲの送信機と同様にテストを行った上で、ご使用ください。



見張り番Ⅲと見張り番Ⅱでは使用している周波数帯が異なるため、見張り番Ⅲ変換機を使用しないと見張り番Ⅱ送信機は使用できません。



見張り番Ⅲ変換機の登録は必要ありません。



見張り番Ⅲ変換機のテスト信号を受信すると”ピー”と音が鳴り、約5秒間すべての受信ランプが点灯します。

テスト信号の送信方法は、見張り番Ⅲ変換機の取扱説明書をご参照ください。

こんな時には・・・(故障とお考えになる前に)

アラームが鳴らないとき

- 据置型受信機の電源が入っているか確認してください。
- 送信機が正常に動いているか確認してください。(各機器の取扱説明書参照)
- 見張り番Ⅱ送信機を使用している場合は、見張り番Ⅲ変換機の位置、電源が入っているかを確認してください。

製品仕様

品名	据置型受信機
品番	NC-9000RX
電源	ACアダプター 100V 50/60Hz DC5V 300mA
外形寸法 (mm)	160 × 140 × 30
質量 (g)	294
使用環境	温度 5～40℃ 湿度 45～85%
周波数	920MHz帯 特定小電力
電池寿命	—

保証書(保証規定)

- 「見張り番皿据置型受信機」はお買い上げの日から1年間保証いたします。
- お客さまが取扱説明書にしたがった使用状態のもとで、保障期間内に万一故障をした場合には、無償で修理または交換をさせていただきます。
- 保証期限内でも次のような場合は有料修理とさせていただきます。
 - 本保証書のご提示の無い場合
 - 本保証書にお客様名、お買い上げ年月日、販売店名の記入が無い場合、あるいは字句を書きかえられた場合
 - 使用上の誤りまたは不当な修理や改造による故障および損傷
 - 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - お買い上げ後の取付場所の移動、落下等による故障および損傷
 - 本製品に接続している当社指定以外の機器および消耗品に起因する故障および損傷
- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

* 故障品の修理を円滑にかつ迅速に行なうため、修理をご希望の際は、お買い上げ店またはお客様相談室までお問合せのうえ、本保証書を添付して、指定された場所にご郵送ください。受信機か送信機のどちらの故障かわからない場合は、両方ともご郵送ください。

品番	NC-9000RX		問 合 せ 先	お客様相談室 (株)エクセルエンジニアリング 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル 9階 TEL: 03-5280-7120 FAX: 03-5280-7123 http://www.excel-jpn.com	
製造番号					
保証期間	* お買い上げ日から1年間 お買い上げ日 年 月 日				
お客さま	ご住所	〒			
	お名前	(フリガナ)			
	TEL	市外局番 ()			

販売店	製造発売元 (株)エクセルエンジニアリング 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町2-12-14 晴花ビル 9階 TEL: 03-5280-7120 FAX: 03-5280-7123 http://www.excel-jpn.com
-----	---